

プリンタードライバー

設定ガイド

本書は Windows 7、Windows Vista、Windows XP、
Windows 2000 用プリンタードライバーの設定方法について
説明しています。

ご使用になる前に

プリンタードライバーをご使用になる前に、必ず “Readme”
ファイルをお読みください。

UP-DR80MD

本書では、UP-DR80MD を Windows Vista に接続した場合に表示される画面を使って、設定方法を説明しています。

プリンターを設定する

アプリケーションからプリントを行う前に、プリンターの設定画面を開いて設定します。

プリンターの設定画面は、以下に示すどちらかの手順で表示することができます。

- ・ [スタート] の [コントロールパネル] から [プリンタ] (Windows 7 の場合は [スタート] の [デバイスとプリンタ]、Windows XP の場合は [スタート] の [プリンタと FAX]、Windows 2000 の場合は [スタート] の [設定] から [プリンタ]) を選択します。Sony UP-DR80MD のプリンターアイコンを選択し、コマンドバーの [印刷設定の選択] (Windows 7 の場合は右クリックして [印刷設定 (G)]、Windows XP の場合は [ファイル (F)] メニューの [印刷設定 (E)]、Windows 2000 の場合は [ファイル (F)] メニューの [印刷設定 (T)]) を選択します。この手順で設定した内容は、アプリケーションでプリントする場合の初期値になります。
- ・ アプリケーションの [ファイル (F)] メニューから、プリンターの設定を行う項目を選択します。この手順で設定した内容は、アプリケーションが終了するまで有効です。

ここでは、UP-DR80MD の設定画面に表示される次のタブについて説明します。

【用紙】タブ

プリントに関する基本的な設定を行います。

【グラフィックス】タブ

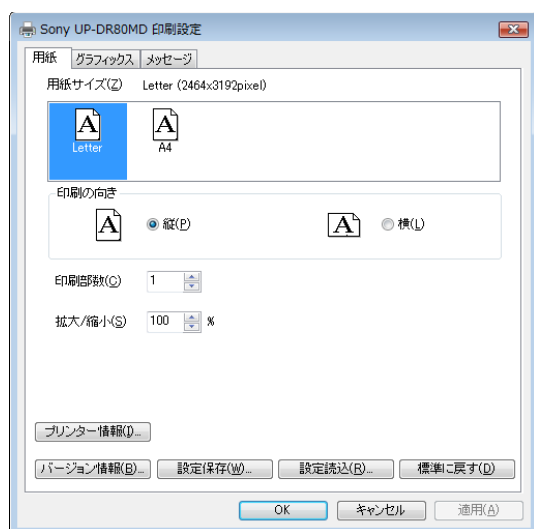
色、明るさなど、画質に関する設定を行います。

【メッセージ】タブ

メッセージダイアログボックスに関する設定を行います。

[用紙] タブの設定

プリントに関する基本的な設定を行います。



用紙サイズ (Z)

プリンターにセット可能な用紙サイズと最大プリントサイズは、以下のとおりです。

用紙サイズ	最大プリントサイズ
レター	2,464 × 3,192 ピクセル
A4	2,392 × 3,400 ピクセル

印刷の向き

プリントする向きを「縦 (P)」または「横 (L)」から選択します。

印刷部数 (C)

1 ～ 10 の範囲で設定できます。

拡大 / 縮小 (S)

拡大率または縮小率を指定します。25 ～ 400% の範囲で設定できます。

プリンター情報 (I)

現在、接続されているプリンターに関する情報を表示します。

設定保存 (W)

印刷設定内の全ての設定値をファイルに保存します。

設定読込 (R)

保存されている設定値をファイルから読み込んで設定します。

バージョン情報 (B)

プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

標準に戻す (D)

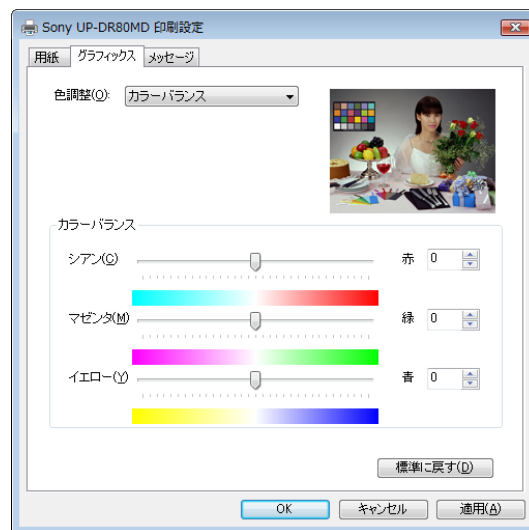
[用紙] タブで変更した設定をすべて初期状態に戻します。

[グラフィックス] タブの設定

[色調整 (O)] リストボックスで [カラーバランス]、[明るさ]、[色補正]、[グレイバランス] を選択し、それぞれの設定を変更します。

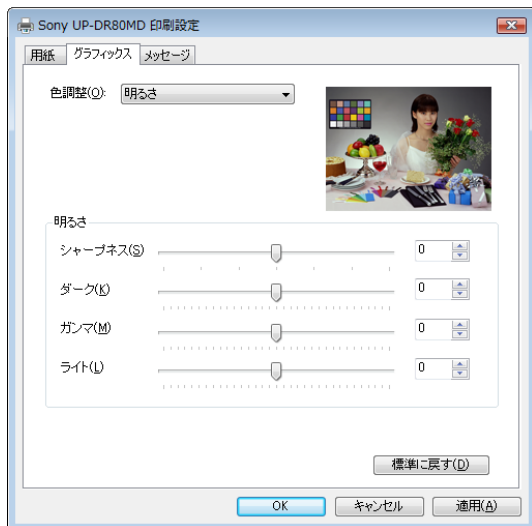
カラーバランス

カラーバランスを調整します。スライダーを左右に動かして設定値を調整できます。また、右側のボックスに数値を入力して調整することもできます。調整した効果は右上のプレビュー画像に反映されます。



明るさ

明るさを調整します。スライダーを左右に動かして設定値を調整できます。また、右側のボックスに数値を入力して調整することもできます。調整した効果は右上のプレビュー画像に反映されます。ただし、シャープネス調整の効果は反映されません。



シャープネス (S)

画像の輪郭を調整します。設定値を大きくするほど画像の輪郭が強調されます。

ダーク (K)

暗い部分の階調を調整します。

ガンマ (M)

中間色の階調を調整します。

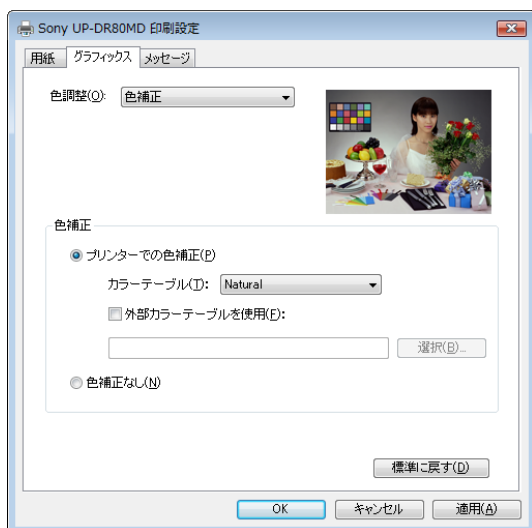
ライト (L)

明るい部分の階調を調整します。

色補正

色補正の方法を選択します。

設定した効果は右上のプレビュー画像に反映されません。



プリンターでの色補正 (P)

プリンターで色補正を行います。

色補正なし (N)

プリンターで色補正を行いません。

カラーテーブル (T)

プリンター内蔵のカラーテーブルを選択します。

Natural : sRGB 準拠の画像に適した色再現を行います。

CG : CG 画像に適した色再現を行います。

外部カラーテーブルを使用 (F)

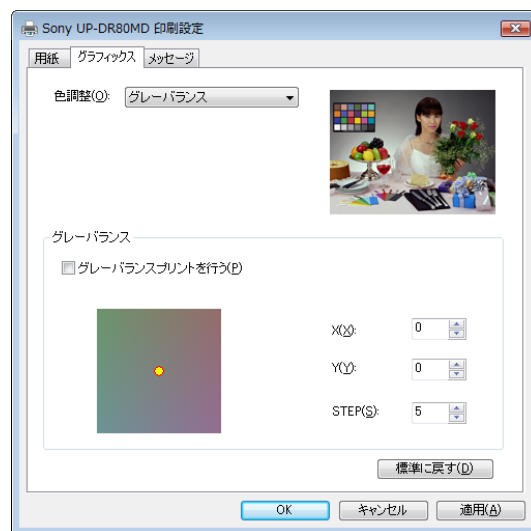
プリンター内蔵のカラーテーブル以外のものを使用する場合に選択します。

グレースケール

モニター画面の色合いに一致するように、プリント画の色合いの調整を行います。

また、新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときは、グレースケールを調整することにより、ペアごとのばらつきを補正できます。

調整した効果は右上のプレビュー画像に反映されます。



グレースケールプリントを行う (P)

チェックボックスをオンにすると、印刷データがグレースケールバランスプリントされます。

X (X)、Y (Y)

グレースケールを左下のグレースケールチャート上の X、Y 座標として設定します。デフォルトはどちらも「0」でグレースケールは変更されません。

調整した効果は右上のプレビュー画像に反映されます。

STEP (S)

グレースケールプリントにおけるグレースケールの変化量を設定します。デフォルトは「5」です。

グレースケールを微調整する場合は値を小さくし、粗調整する場合は値を大きくします。

グレーバランスを実際に印刷して調整するときは、[グレーバランスプリントを行う] をオンにしてプリントを実行します。このとき、次のようなダイアログボックスが表示されますので、プレビュー上の枠（選択ウィンドウ）をドラッグして色合いの確認に使用する範囲を指定してください。枠の大きさは「選択ウィンドウの大きさ」の値を設定することで変更できます。また、枠の色は「選択ウィンドウの明るさ」の値を設定することで変更できます。



[印刷] ボタンをクリックすると、画像の選択ウィンドウ内の部分が5 × 5の配置でプリントされます。プリントされた25の画像の中で、グレーバランスが最もよい画像を選び、その画像の下に書かれている(X,Y)の値をグレーバランスのX、Y座標として入力します。

標準に戻す (D)

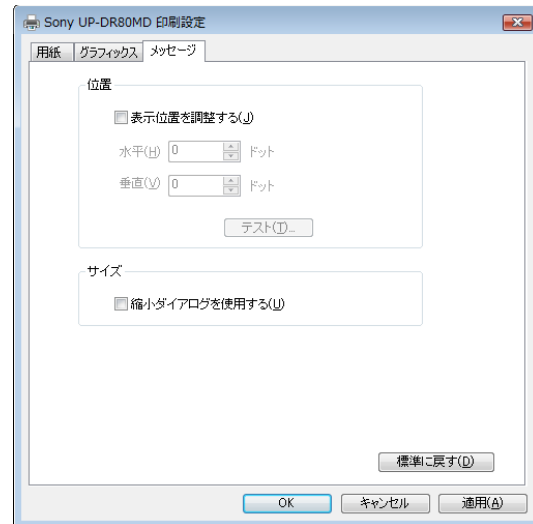
[グラフィックス] タブで変更した設定をすべて初期状態に戻します。

ご注意

プレビュー画像と実際にプリントされる画像では、画質または色合いが異なる場合があります。これは、発色方法の違いや表示環境の違いによるもので、画面に表示されるプレビュー画像はあくまで調整の目安とお考えください。

[メッセージ] タブの設定

メッセージダイアログボックスが表示される場所を設定します。



表示位置を調整する (J)

[表示位置を調整する] をチェックすると、メッセージダイアログボックスの表示位置を調整することができます。[水平]、[垂直] で指定した位置にメッセージダイアログボックスが表示されます。

初期設定値：オフ（メッセージダイアログボックスは中央に表示される。）

水平 (H)、垂直 (V)

[表示位置を調整する (J)] をチェックして、オンにすると、有効になります。メッセージダイアログボックスの左上の座標を入力します。

ここで指定した位置にメッセージダイアログボックスが表示されます。

テスト (T)

[テスト (T)] をクリックすると、メッセージダイアログボックスがどの位置に表示されるかを確認することができます。[水平 (H)]、[垂直 (V)] で指定した位置に確認用のダイアログボックスが表示されます。

縮小ダイアログを使用する (U)

[縮小ダイアログを使用する (U)] をチェックすると、メッセージダイアログボックスが縮小ダイアログボックスになります。

標準に戻す (D)

[メッセージ] タブで変更した設定をすべて初期状態に戻します。